

27 医療 ☆ 2014年(平成26年)7月15日(火曜日)

つなごう医療

229

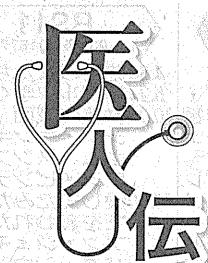
中部の最前線

つなごう医療

229

腎臓病患者の栄養の管理、指導に長年、携わってきた。自身が指導する臨床栄養学研究室からは、全国的な透析患者向けレシピコンテストの入選者を、毎年のように輩出している。

「栄養バランスはもちろ



腎臓病患者の栄養の管理、指導に長年、携わってきた。自身が指導する臨床栄養学研究室からは、全国的な透析患者向けレシピコンテストの入選者を、毎年のように輩出している。

「栄養バランスはもちろ

四年前に大学に移るまでは名古屋市の新生会第一病院、名古屋記念病院と、腎臓病医療で知られる医療機関に勤めた。新生会第一病院に入つたころは、一階に管理栄養士のいる「栄養相談室」があり、頻繁に患者が出入りしていた。外来の診察で「食事療法で困っている」と聞けば、医師が相談室に寄るよう患者に指導していた。

患者から多くのことを学んだ。患者にはさまざまなもの、おいしさ、治療で疲れた患者さんが手軽に作れるなど、いろいろな要素が求められる。学生たちには真剣に料理を考えるいい機会」と、コンテストの参加を促す意図を明かす。

静岡県袋井市出身。料理好きで栄養士を目指した。

腎臓病食の改善を指導

至学館大健康科学部（愛知県大府市）

教授 井上 啓子さん(57)



栄養・食事療法の項目を執筆した腎臓病のテキストを手に、管理栄養士の役割を話す井上啓子さん

善させる健康的な食事の提案や、食材の選び方の指導に恵を絞った。病院食を適温で出すなど、おいしさにもこだわった。食事を通じて栄養状態を改善させ、元気になる患者の姿も目の当たりにした。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士らがうまく連携し、それぞれ専門性を発揮していた。そんなチーム医療の一員として働いたことを「恵まれていた。感謝している」と振り返る。現在は医療の現場に役立つ管理栄養士の育成に力を注ぐ。学生には患者を想定

した献立や栄養ケア計画を立てさせ、実践的な技術も熱心に伝える。東海地方の腎疾患分野で活躍する管理栄養士の会「東海腎臓病栄養食事研究会」の会長、日本栄養士会などが認定する「在宅訪問管理栄養士」の運営委員長も務める。在宅訪問管理栄養士は、在宅の患者を訪問し、栄養や食事の指導をする管理制度だ。

「在宅療養者が増える中で管理栄養士も、これまで以上に在宅の現場にも出ていかないと」と話す。食事を通じて健康寿命を延ばし、終末期になつても食を楽しむ。医療現場の経験から、管理栄養士なりたいに貢献できると信じてい

(佐橋大)